

赤須賀漁港の不思議な道具達その4

赤須賀漁港の船着き場には、小さな木の樽がたくさん置いてあります。

これは「斗升(とます)」と呼ばれ、シジミやアサリの計量の際に必要な道具で、赤須賀の漁師ならば、必ず一つは持っています。

斗升とは、「1斗(18L)の容量の升」という意味で、1杯にシジミが約20kg入ります。赤須賀では漁獲制限を設けているため、その時々々の制限量をこれで計り、ネットに入れて出荷します。現在はシジミ160kg制限なので、この斗升で8杯分となります。

この斗升は職人の手作りで、年に1度、組合の審査を受けたものしか使用できません。合格したものには、その年ごとの印がペンキで塗られています。

最近では職人の数が減っており、手に入りにくくなっています。



斗升いっぱいシジミ(約20Kg)



ネットに入れかえて出荷します